



# 研 修 等 報 告 書

令和 3年 4月 7日

笠岡市議会議長 殿

(報告者) 議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等に参加したのでその結果を報告します。

## 記

住 所	Zoom にて (笠岡市美の浜8-4)
電 話	0865-67-0738
案 件	デジタル地域通貨の展望 決済を軸にサステイナブルな地域を実現するプラットフォームビジネス
期 日	令和 3年 4月 5日 (火) 15時から16時半 まで
講 師	株式会社フィノバレー 代表取締役 川田 修平
主 催 者	地域おこし協力隊 平岡 顕治
概 要	(株)フィノバレーが関わっている飛騨市のデジタル地域通貨「さるぼぼコイン」、木更津市の「アクアコイン」などの事例を聞きながら、デジタル通貨を通じて地域のお金と情報(データ)の流れを変えることで、地域活性化につなげるための取り組みについてお聞きした。少子高齢化が進む今後の地域社会の中では行政サービスの担い手は減少する一方で、サービスの受け手は増加の一途をたどる。スマートフォンアプリによるデジタル地域通貨を導入後、子育て手当などをデジタル地域通貨で利用機関を限定して交付することで、【子育て支援以外で利用できない】【地域内で経済が循環する】などの利点がある。また、歩いた歩数に応じてポイントを付与することで、健康促進効果も期待できる。得たポイントを寄付することで社会貢献ができる設計をしている地域通貨もある。岡山県内では真庭市が実証実験を終え、導入を目指しているとのことなので、今年度内に真庭市に視察に行こうと考えている。
添付書類	写真 メモ

# デジタル地域通貨の展望 2021年

## 決済を軸にサステイナブルな地域を実現する プラットフォームビジネス



株式会社フィノバレー (アイリッジグループ) | <https://finnovalley.jp> | Strictly Private and Confidential

## SDGs未来都市の岡山県真庭市にて、 デジタル地域通貨の調査事業を実施予定

岡山県真庭市  
公金キャッシュレス・市民ポイント調査事業

2020.12.09

### 岡山県真庭市の「公金キャッシュレス・市民ポイント調査研究業務」の優先交渉権をフィノバレーが獲得

～キャッシュレス決済環境構築と魅力的な地域づくりを両立  
調査研究を支援～

株式会社フィノバレー（本社：東京都港区、代表取締役社長：川田 博平、以下「フィノバレー」）は、岡山県真庭市（市長：太田 勇）が2021年度にかけて実施する「公金キャッシュレス・市民ポイント調査研究業務」の優先交渉権を獲得しました。

岡山県真庭市では、新型コロナウイルスを契機とする「新しい生活様式」への変革の一環として公金支払いや市内施設での決済におけるキャッシュレス決済環境を提供すること、地域創出を促進できる市民ポイント制度の導入を通じた蓄積で臨む魅力的な地域づくりを目標として、2021年度以降、公金キャッシュレス・市民ポイント基盤の導入を目指しています。本事業はこの基盤の導入に向けた事前の調査研究を実施するものであり、公募型プロポーザルが実施された結果、企画費策定、見積書、プレゼンテーションなどの審査でフィノバレーが最高得点を獲得しました。（参考「真庭市公金キャッシュレス・市民ポイント調査研究業務」）



いつまでも  
素敵な暮らしがあるために

人々の暮らしが、自然環境と調和すること、暮らしの質を向上させること、これらは、真庭市が目指す「真庭のライフスタイル」と、調査プラットフォームで実現されています。Sustainable Development Goals (SDGs) 持続可能な開発目標 ©SDGs 2017年



持続可能な地域づくりの基盤（お金、データ、思いなど）としての活用の  
模索を加速化させていきます。